Rotary Ryugasaki-chuo

Weekly News

龍ケ崎中央ロータリークラブ

2025.08.08　No.01254　R I District 2820 CLUB 50504

会　長：大原浩行　　幹　事：川上　勉　　連絡先：TEL 0297-64-3956　FAX 0297-64-3978　http://rcrc.web5.jp
事務所：〒301-0824 茨城県龍ケ崎市下町 2842　　例会場：〒301-0857 茨城県龍ケ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ竜ケ崎

本日のプログラム

【通常例会 08.08】
Club Forum
会員増強
会員増強委員会

よいことの
ために
手を取りあおう
Rotary

次回のプログラム

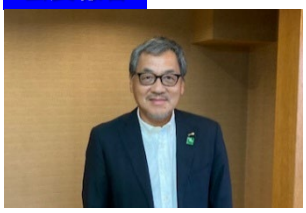
【通常例会 08.22】
クラブ協議会Ⅳ
中村康博AG
クラブ管理運営委員会

第 1253 例会報告（2025.08.01）

点　鐘	大原浩行　会長
国歌斉唱・R ソング	なし
本日のプログラム	納涼会　金田屋(栄町)
ゲスト・ビジター	水谷さま(白井RC)　家族会員のみなさん
母子の健康月間	

会長報告

会長：大原浩行



皆さんこんにちは。本日は親睦コンペからの納涼会となりました。コンペ参加の皆様はお疲れさまでした。2年前は気温37℃、陽炎たつフェアウエーからの「金田屋」さんでしたが今日は多少の雨には降られたものの大分楽なゴルフでした。昼間は仕事が忙しくて例会に出席しづらい会員さんもいらっしゃいますので夜間移動例会を月に一度とは言えませんがなるべく多く実施していきたいと思っています。本日ゲストとしてお越しの水谷さん所属の「白井ロータリークラブ」では月1度で夜間移動例会にしているそうです。それではこれから美味しい料理とお酒で暑い夏を吹っ飛ばして行きたいと思います。皆さん楽しく過ごしましょう。

幹事報告

幹事：川上勉

❖大高ガバナー事務所から送られた「文書通信392 号」を送信しました。ユーザー名とパスワードが必要です。
❖7 月 19 日　奉仕プロジェクト研究会　9：30　ホテルテラスザガーデン水戸（信嶋会員・宮本会員・海老原員）
❖7 月 27 日　青少年奉仕・ローターアクト研究会　10：00 受付　ホテル日航つくば（鈴木会員）
❖8 月 24 日　米山研究会：
❖8 月 29 日　ガバナー公式訪問：全員義務出席

❖8月10日　第一回会長幹事会：つくば国際会議場■出席状況

会　員	14 名	出席率	100.00%
出 席 者	12 名		
Make-up	2 名	大橋会員　堀越会員	

■ニコニコボックス

目標額	（本年度）	560,000円	
実績額	本日/累計	17,000円	53,000円

■MESSAGE

大原会員	今日は涼しくて良かった。
川上会員	楽しくやりましょう！
海老原会員	今日は何の日：「水の日」および「水の週間」は水の大切さや水資源開発の重要性に対する国民の関心を高め、理解を深めるため、昭和52年の閣議了解により政府が定めたものです。
鈴木会員	みなさん　ゴルフお疲れさまでした。
髙梨会員	ゴルフおつかれさまでした。
長友会員	雨のゴルフ　お疲れ様
韮澤会員	今日はパートナーがいるのでニコニコ２倍
中村会員	フィリピン　パンガシナンの実家が床上浸水になってしまいました。
信嶋会員	今日は嵐の中のゴルフ楽しかったヨー
横山会員	本日は私のゴルフ優勝祝賀会にご参加いただきありがとうございました。

例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事 TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。≫

本日のプログラム

納涼会

❖連日「熱中症警戒アラート」が発令され、35℃を超える日が続いておりますが、本日は台風 9 号の余波で猛暑も一休み、若干涼しい日を迎えました。よって、親睦ゴルフに参加された皆さんは雨には祟られましたが猛暑から解放され誰一人熱中症にならずに楽しくラウンドできたかと思います。特に優勝した横山会員はそう思っているに違いありません。納涼会と言えば金田屋、利根川を渡った千葉県栄町で今回も開催することとなりました。

👆会長あいさつ

👆乾杯

👆会場となった「金田屋」

世界の平和は心の安らぎからはじまる。

❖ベストさんは、スコットランドの二つの学校とケニアの二つの学校をつなぐ新しいオンラインプログラムを特に誇りに思っています。このプログラムでは、参加したすべての若者を同時に研修し、各学校の生徒たちはアクティビティを進める中で互いの顔を見ながら作業することができました。「二つの国に橋をかけることが目的でした」とベストさんは話します。

2024 年にアイルランドで行われた平和擁護プロジェクトを祝うジーン・ベストさん。

世界が新型コロナウイルスから抜け出すと、ベストさん夫妻はプロジェクトを拡大し続けました。今年だけでも、中学生の親が子どもとのコミュニケーションの方法を学ぶのに役立つプログラムを含め、三つの新しいプログラムを追加しました。子どもと一緒に英国に移住したウクライナ人の親にとっては特にインパクトの大きなものとなりました。「傾聴と対話の進め方に関する平和擁護のテクニックをすべて教えましたが、本当にうまくいきました」とベストさん。「その後、一人の母親が涙を流して私たちのところにやってきて、『感謝しかありません。あのままでは息子を失っていたと思います。このプログラムのおかげで息子を取り戻せました』と言ってくれたんです。この母親は、息子と有意義で持続可能な対話を冷静にすることができるようになりました」

これまでと同じように、ベストさんは引き続き、ほかのロータリー会員に対し、ロータリー内での活動だけでなく、その外でも活用できる、洗練されたアプローチによる丁寧な傾聴、実りある対話、および紛争解決の方法を提案し続けています。2024-25 年度第 1210 地区ガバナーのジェーン・クーパーさんは、この地域で行われた活動を称賛しています。「ジーンさんとキースさんは地区の役員や会員と協力しましたが、フィードバックは素晴らしいものでした」とクーパーさんは言います。

ベストさんは平和擁護プロジェクトの長期的なインパクトと焦点が重要であると考えています。「これは、若い人が若い人のために行うプログラムです。平和アドボカシーの研修を受けた若い人は、そのスキルをその先ずっと活かしていくことができるのです」